

NEWS

R型 α -リポ酸包接原料を市場投入

シクロケム

シクロケム(本社神戸市、☎078-302-7003)はR型 α -リポ酸を γ -CDで包接化した新素材を市場投入する。すでにこの原料による人工胃液処理による α -リポ酸の安定性の高さを確認済みで提案の際のバックデータとして活用していく。

α -リポ酸分子はR(+型)とS(-型)の2種類の光学異性体が存在し、生体内では、R(+) α -リポ酸のみが合成されている。一方「市販の α -リポ酸含有サプリメントにはR(+型)とS(-型)を等量ずつ含むラセミ体を使用されている」という。そして国内外の論文を調べた結果「糖代謝促進作用による抗糖化や糖尿病予防、白内障などに対してはラセミ体よりR型の α -リポ酸を摂取した方が有効性が高いことを示すデータも多数ある」とする。

同社では、既存の自社商品の機能向上を目的に α -リポ酸についての研究を進める中、R型の効果に改めて着目。同社の包接化技術を加えることで、体内での吸収

や安定性が高まることを突き止めた。「人工胃液処理による胃酸安定性実験を行ったところ通常の α -リポ酸では半分以上が胃酸で壊れ残り半分をゴムのような状態で包んでしまい、そのまま排泄されてしまう。一方、 γ -CDで包接化した α -リポ酸は胃酸による影響を受けず安定性が保たれた」という。また、錠剤化や製造による摩擦熱、圧縮に体しても安定が良いとする。同社では従来にない新しい α -リポ酸として「食品開発展2010」で初公開し、堅実な提案を進めていく。

